

地域のみなさんと医療を結ぶ。阿蘇立野病院のコミュニケーションマガジン

春号
Spring No.

たての日和

No.02

医療法人社団 阿蘇会
阿蘇立野病院 発行

TATENO BIYORI

阿蘇立野病院

一致団結

頑張ります!

BAND TOGETHER

皆さん今年は、
お花見されました？

各部署よりのご連絡掲示板

お花見
Cherry-blossom viewing

病院再開後 初めてのお花見。 桜は震災前のまま。

【幹事 事務局 測上賢司】

去る3月31日、当院駐車場の桜の下で阿蘇立野病院のお花見が開催されました。病院が再開して初めてのお花見となりました。震災前と同じ桜に囲まれ感慨深くなりました。地域の皆様をはじめとした、開催にご協力いただいた皆様方に御礼を申し上げます。



病院機能

- 一般外来 ● 救急外来
- 人工透析 17床 ● 通所リハビリ
- 入院 32床(地域包括24床・療養8床)
- 院内リハビリ(PT・OT・ST)
- 訪問診療・訪問看護・訪問リハビリ
- 健診センター ● 自由診療

入院受入れ可能項目

- レスプレーター管理(要相談) ● 気管切開
- 経管栄養(鼻腔栄養・胃ろう栄養)
- がん疼痛麻薬使用 ● 終末期看取り
- リハビリ PT・OT・ST がんリハ
- 認知症(要相談) ● 透析 ● 転院継続療養
- 当日入院・土日転院受入れ相談・Key不在の方受入れ

外来診療予定表

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	上村晋一	上村晋一 生野俊治	生野俊治	生野俊治	上村晋一 生野俊治	上村晋一
	午後	上村晋一	上村晋一 末藤美星 (不定期)	生野俊治 (不定期)	—	中島昌道	久留米大外科
代謝内科 *期間限定非常勤	午前	熊大代謝内科 (第2週or第3週)	—	熊大代謝内科 (第2週・第4週)	熊大代謝内科 (第1週)	—	—
	午後	熊大代謝内科 (第2週or第3週)	—	熊大代謝内科 (第2週・第4週)	熊大代謝内科 (第1週)	—	—
外科	午前	上村晋一 米満候宏	上村晋一	—	—	上村晋一	上村晋一
	午後	上村晋一 米満候宏	上村晋一	—	—	中島昌道	久留米大外科
整形外科	午前	松原暢三	—	—	—	松原暢三	—
	午後	松原暢三	—	—	松原暢三	松原暢三	—
泌尿器科	午前	—	—	—	中原王寿	—	—
	午後	—	—	中原王寿	—	—	—
健診センター	午前	上村晋一 米満候宏	大熊利忠	生野俊治	生野俊治	大熊利忠	—

【受付時間】午前 8:30 ~ 11:30 午後 1:30 ~ 5:00 【診療時間】午前 9:00 ~ 12:30 午後 3:00 ~ 5:30



各部署よりのご連絡掲示板

新入社員
ご紹介
New staff

地域の皆さま、これからどうぞよろしくお願いいたします！



臨床検査技師 中山 麻紀
社会福祉士 渡邊 里奈
准看護師 元田 知里
介護福祉士 相馬 真悟
看護師 夏井 要
看護師 太田 恵理子
介護福祉士 相馬 敦
理学療法士 家興 ひかり
言語聴覚士 井上 未咲希

検診
センター

Examination
center



健診センターは
皆様の健康に
寄り添います

【臨床検査課 佐藤由美子】

様々な方々のご支援のもと、今年
の1月より元の健診センターでの
健康診断が再スタートしました。
健診センターも新スタッフを迎え、
心機一転皆様の健康維持に尽力して
いきたいと思っております。生活
習慣病予防健診・法定健診（労働
安全衛生法に基づく）・特定健康
診査・出張健診も行っております。
のでお気軽にご相談下さい。

透析
Dialysis

4月より
間欠型 HDF
開始しました！

【臨床工学士 荒尾浩二】

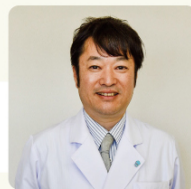
透析室では、4月から間欠型
HDF（i-HDF）を開始しまし
た。血圧低下予防、末梢血液循環
の改善など、より安定した治療を
提供している体制が整いまし
た。患者さんにも安心して
通っていただける透析室となるよ
う、温かく家庭的な雰囲気作り
に努めていきたいと思っております。



平成 30 年度事業計画

「新しい「ホップ」」

もうすぐ平成28年4月の熊本地震から2年が経過しようとしています。全国でも病院避難を実施した民間病院として知らずも有名になりましたが、未だに震災を情緒的に振り返るほどの余裕はありません。現実的な経営上の艱難辛苦を味わっている最中ですが、そのような苦しみより病院を再開できた喜びが大きいのが実直なる感想です。有り難いことです。このような状況で2年ぶりに事業計画を発表することができました。平成30年度の目標は、初心に帰って「全員一丸となり、復旧から復興へと創造していく」ことだと思えます。お蔭様で平成29年いっぱいハードを復旧することができたため、阿蘇地域のために早く現在の32床の病床から震災前の88床に返せるのが大きなポイントだと考えます。そのためには人財確保が最重要事項と考え、全員体制で取り組みます。また今年度新しく同時改定された診療報酬に対しては、上村グループ内で協力し対応していきたいと考えています。同時



医療法人社団順幸会
阿蘇立野病院 理事長

上村 晋一

に、積年の課題であった電子カルテ導入もいよいよ始まりです。当院の改革ならぬ維新の布石にしたいと考えています。思えば新館が完成して1年経過した平成24年度に事業計画に「ホップ・ステップ・ジャンプの「ホップ」という単語を使い、平成28年度までに「ステップ3」まで進化してきました。ところが先の地震で再び今年度は「ホップ」に戻ってしまいました。また、当地では超少子高齢社会、人口減少の波をもろに受けています。しかしながら現実には現実として受け止め、「禍福は糾える縄の如し」とあるように、そのうちに吉報が来ることを信じて頑張りましょう。最後に松下幸之助翁の言葉で締めたいと思います。
「百篇倒れたら百篇立ち上げられ。万策尽きたと思うな。策は必ずある。」

日々の笑顔を忘れずに
一致団結頑張ります

病棟は、患者さんに寄り添い治療が出来るように日々笑顔で仕事をしています。4月からの診療報酬・介護報酬改正に伴い、今まで以上に入退院支援・地域との連携を図りながら患者さんの状態に応じた、適切な医療が効果的・効率的に提供できるように横断的な体制づくりが必要です。支援ナースの力を借りながら皆で団結し、医師・看護師はもとより他の職員と連携を図り、ぬくもりと安心の医療を提供できるように頑張っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



病棟師長
橋本 和歌子

安心して生活できるよう

当院の外来は、外科、内科、代謝内科、整形外科、泌尿器科、内視鏡検査を行っています。熊本地震後、今年1月に全館復旧をきっかけに以前の診療場所診療を再開できるようになりました。地元の皆様に住み慣れた土地で医療を受けていただき、患者さんが安心して自宅での療養生活ができるよう、地域の病院や関連施設と連携を図りながら、地域に密着した看護に取り組んでいます。オゾン療法等の自由診療も合わせて行っています。これからも外来スタッフ8名で、病院理念である、「ぬくもりと安心の医療」が提供できるように頑張っていきます。



外来師長
岩下 みどり

復興目指し、心ひとつに

阿蘇立野病院がグランドオープンし三ヶ月が経ちました。震災から二年、復興を願う住民の皆さんが安心して過ごせるよう、当院も共に歩んでいきたいと思っております。地域の皆さんが健康であるために、南阿蘇村における唯一の病院として、健診結果の異常なども気軽に相談していただき、病気になる前から健康管理のお役に立てるよう努力してまいります。まだ、人員が不足する中ではありますが、復興を目指す今だからこそ、職員一同、心をついに、前進していきたいと思っております。



外来統括師長
馬原 京子